

自校の指導ツールを他校の教師とともに検討し、各校の生徒特性に合った形へ改善を図る本コーナー。今回は、教師間で探究学習の指導上の課題やノウハウを共有するシートを検討する。

富山県・私立片山学園中学校・高校 森内梨絵先生提供
「探究学習指導・共有シート」

Before

3年間の探究学習の計画表／指導・共有シート

学年	テーマ	期	探究活動のプロセス	使用ツールシート名	具体的な活動内容	進捗状況	担当教員		
1 日通探研 (Y6~7)	4	4	目標設定	キーワードマップ	テーマ・問いの作成と選択	目標設定	高1全員		
		5	仮説設定(行・列・行の仮定)	ロジックツリー	仮説でテーマ決定				
		6	仮説設定(行・列・行の仮定)						
		7/3	情報収集(事前調査書作成)						
		7/5	情報収集(事後調査書作成)						
		7/10~19	情報収集						
	2 日通探研 (個人)	5	1	仮説設定(行・列・行の仮定)	プロセス	よくある事例		原因	声かけ・支援の仕方
			2	仮説設定(行・列・行の仮定)	ロジックツリー	大きなテーマから細分化できない		知識不足、情報不足	〇〇について調べてみよう
			3	仮説設定(行・列・行の仮定)	問いの内容	調べて終わりにしてしまう		領域の細分化の意味が分からない	具体例を基に「細分化」の意味と一緒に考える
			4	仮説設定(行・列・行の仮定)	問いの内容	解決しやすいテーマを設定してしまう		問いの立て方	考えたいキーワードを問いの形にあてはめてみよう
			5	仮説設定(行・列・行の仮定)	問いの内容	仮説と調査方法を考えてみると探究できない(進め方が分からない)と分かった		課題設定に困ると「うまくいく」形を求めたくなる	自分なりの考察ができるか、一緒に検討する
			6	仮説設定(行・列・行の仮定)	仮説設定	そもそも仮説が立てられない		知識不足・情報不足	それは「最初に漠然と抱いていた方向性」と合致しているか?/それは自分の関心事の中心か?と尋ねる
3 日通探研 (個人)	6	7	仮説設定(行・列・行の仮定)	調査	問いが成立しないと分かる	調べてみて初めて分かることもある	もう一度、課題設定に戻ろう/別の問いを立ててみよう		
		8	仮説設定(行・列・行の仮定)	調査	すべて先行論文で言われていて、新しいことが見つからない	研究の領域に踏み込んでいる	先行論文そのものは探さない。自分の立てた問いとその仮説を証明するために必要な資料や調査、実験データを集めよう		
		9	仮説設定(行・列・行の仮定)	分析	仮説と結果が食い違う	実はよくある	仮説と違っていても、探究の結果、分かったことなのでOK		
		10	仮説設定(行・列・行の仮定)	分析	資料の焼き直しになり、自分なりの考察がない/自分の考察が他者の論の引用にとどまっている	調べて終わりの問いだった 先行研究、先行論文そのものを資料として使った	考察に至るまでに、問いの軌道修正をしよう 既に述べられている考察を基に問いを立ててみよう		
		11	仮説設定(行・列・行の仮定)						
		12	仮説設定(行・列・行の仮定)						

課題

- 1 生徒の探究学習をより深めるため、探究学習担当の教師が生徒をうまく支援できるようにしたい
- 2 探究学習担当の教師全員が、指導の見通しを持って取り組み、学校全体の活動としたい

富山県・私立片山学園中学校・高校では、全教育活動の中心に探究学習を置くこととし、その充実を図っている。2019年度からは、3年間の計画表で育成を目指す資質・能力や活動内容などを教師間で共有して指導し始めていたが、生徒の探究の深まりに違いが出ると思われた。そこで、担当の森内梨絵先生は、教師間で支援の足並みをそろえようと、各プロセスで起こりやすい生徒のつまづき事例とその支援方法を整理した「探究学習指導・共有シート」を作成した。ただ、示した以外のつまづきも想定される中、教師全員が見通しを持って指導するために、どういった準備をすればよいか課題だった。

教師の支援の手立てを
どのように共有すればよいか

検討メンバー



ツール提供者

富山県・私立片山学園
中学校・高校
森内梨絵
もりうち・りえ



新潟県立新潟高校
平野深雪
ひらの・みゆき



福岡県・
私立福岡女学院
中学校・高校
柿原寿人
かきはら・ひさと

探究学習指導・共有シート

After

このシートは先生たちが見えるところに貼る

改良ポイント

① 本時の活動の目的と、支援ポイントを明確に示す

指導・共有シートにも身につけさせたい力・スキルを明示。このシートを授業では手元に置き、活動の目的を意識して生徒を支援できるようにする。

② 教師個々の取り組みを記録し、ノウハウの共有につなげる

生徒への支援で工夫したことや今後工夫したいことなど、支援を通して得た気づきや手応えを記入し、教師間でノウハウを共有。学校全体でも蓄積する。



探究学習指導・共有シート

プロセス	身につけさせたい力・スキル	つまずきポイント	原因	声かけ、支援の仕方	支援をした時の生徒の反応	工夫した(したい)こと、気づいたこと
課題発見	目の前の現象に対して5W1Hを適用し、大きなテーマを生み出す力	テーマが細分化できない	知識不足、情報不足	〇〇について調べてみよう		
			領域の細分化の意味が分からない	具体例を基に「細分化」の意味を一緒に考える		
課題設定	既存の研究や事例に対して、課題発見、仮説設定、情報収集、情報分析のいずれかに改善点を指摘する力	調べて終わってしまうテーマとなっている	問いの立て方	考えたいキーワードを問いの形にあてはめてみよう 自分なりの考察ができるか、一緒に検討する		
			課題設定に困ると「うまくいく」形を求めたくなる	それは「最初に漠然と抱いていた方向性」と合致しているか?/それは自分の関心事の中心か?と尋ねる		
			仮説と調査方法(向き方)	調べてみて初めて分かることもある	もう一度、課題設定に戻ろう/別の問いを立ててみよう	

探究学習責任者の教師が記入

探究学習の担当教師が記入

実際の支援や生徒の実態を踏まえて、次年度以降の改訂につなげる

次ページでは、3人の先生方の検討の様子をダイジェストで紹介!

事後に教師の気づきを共有し、持続的な改善を支えるツールへ

3年間の計画表で示していた「身につけさせたい力・スキル」を、指導・共有シートにも示すことで、教師が各活動での目的を明確に意識した上で生徒を支援できるようにした。

加えて、活動後に、支援した時の生徒の反応を記入する欄を設けた。教師が一方的に指導するのではなく、声かけや支援がどのような生徒の反応を引き出したのかを書き留めることにより、自身の支援を振り返り、指導改善につなげることができる。

さらに、シートを貼るなどして、その振り返りを教師間で共有すれば、指導ノウハウとして学校全体で蓄積ができ、次年度の計画の見直しや、指導・共有ツールの改訂にもつなげられる。



このマークのある図版は、加工可能なデータとして、ベネッセ教育総合研究所のウェブサイト (<https://berd.benesse.jp>) からダウンロードできます。「HOME → 教育情報 → 高校向け → 生徒指導・進路指導ツール集」をご覧ください。

探究学習指導・共有シート

支援事例の蓄積が
学校の大きな財産となる

探究学習では、生徒が自身の関心のあるテーマに取り組むため、教師には専門外の分野についての指導が求められることもある。そのため、教師も生徒とともに探究する姿勢を持つことが大切になる。生徒が直面しやすいまま、ずきを事前に想定し、その対応方法を共有することは教師の安心感につながるが、指導方法を細かく設定し過ぎると、かえって指導がしにくくなり、生徒の学びが深まりづらくなるのではないかとという声が上がった。

生徒同士で学び合いながら探究を深めることが理想だが、生徒の力だけで

は前に進めない場合もある。そうした場面では、対症療法的な指導はせず、育成を目指す資質・能力に立ち返り、どのような支援ならば生徒の思考の道が開け、資質・能力の育成につながるのかを考えることが重要だ。声かけを5W1Hですると、生徒の思考を活性化させやすいといった具体的な提案もあった。そして、指導改善につなげるために、支援時の生徒の反応をよく見て、記録することにした。期待通りに生徒が前に進めたのであれば望ましい支援の1つとして共有し、つまずきが解消されなかった場合は、より効果的な支援を考える手がかりとなる。そうした支援事例の蓄積は、学校の大きな財産になるといっても意見が一致した。

活用の流れ

- 1 年度当初に探究学習の担当教師に配布。探究学習の各プロセスにおける目的や、つまずきポイント・支援方法を共有
- 2 各担当教師が支援時の生徒の反応や自身の支援の振り返りを記入
- 3 記入したシートを教師間で共有し、学校全体での指導改善につなげる

検討メンバーの先生に、自身の指導観や自校の生徒特性を踏まえて、ツールの活用方法や留意点などをお話いただきました

教師の経験を共有し、取り組みながら改善する

富山県・私立片山学園中学校・高校 森内梨絵 もりうち・りえ



本校の探究学習を充実させる上で、「どのような指導をすれば生徒が深い課題を設定し、探究を深められるのか」という課題意識があり、指導のノウハウがほしいと感じていました。しかし、今回の検討会を通して、「取り組みながら改善すればよい」という考えが芽生え、前向きな気持ちになりました。

今振り返ると、探究学習の校内推進者として不安だったため、あれこれ準備しなければといった気持ちが強くなり、指導・共有シートを作成したのだと思います。しかし先生方とお話する中で、用意し過ぎると、生徒からも教師からも学ぶ楽しみが失われてしまうことに気づきました。

改善後のシートは、最低限必要な共有事項を押さえるとともに、教師の経験や気づき、アイデアを盛り込める、未来に向かうツールになりました。探究学習は、教師にとっても答えのない取り組みのため、情報共有が大切です。記入後のシートは、先生方が目を通しやすい場所に掲示するなど、支援事例を共有したいと思います。

森内先生プロフィール 教職歴10年。同校に赴任して11年目。教頭。進路指導部長。進路探究部。「生徒の未来と可能性を、生徒とともに探す」学校プロフィール 全日制/普通科/共学/1学年約1000人/2019年度入試合格実績(現浪計)/国公立大は、東北大、お茶の水女子大、東京医科歯科大、東京大、横浜国立大、富山大、金沢大、京都大、大阪大などに42人が合格。私立大は、慶應義塾大、東京理科大、早稲田大、同志社大、立命館大などに延べ234人が合格。

次世代の教師を育てるコミュニケーションツールに

新潟県立新津高校 平野深雪 ひらの・みゆき



探究学習は、実際に指導して初めて初めて気づいたり、困ったりすることが多い教育活動だと感じます。その点が、従来の教科指導との違いの1つでしょう。そのため、本校の探究学習でも、生徒の実態をベースに指導や支援の方法を検討することを心がけてきました。

今回の指導・共有シートは、各プロセスに沿って直面しやすい課題や支援のアイデアが盛り込まれており、探究学習の指導経験があまりない教師にも、活動や指導の全体の流れをイメージしやすく、最初のハードルが下がるとしています。さらに、支援時の生徒の反応を通して、気づいたり悩んだりしたことを整理できるため、自身の指導力向上にもつながります。

このシートを使えば、教師間の情報共有も一層容易になるでしょう。若手とベテランの教師が探究学習について語り合えるようなコミュニケーション・ツールとしての役割も持たせ、次世代の教師の育成にも役立てたいと思います。

平野先生プロフィール 教職歴36年。同校に赴任して3年目。進路指導部。「総合的な学習・探究の時間」担当。「生徒にとって高校生活は通過点である」

学校プロフィール 全日制/普通科/共学/1学年約280人/2019年度入試合格実績(現役のみ) / 国立大は、北海道大、東北大、千葉大、電気通信大、新潟大、首都大学東京などに58人が合格。私立大は、中央大、東京理科大、法政大、明治大、同志社大、立命館大などに延べ383人が合格。

教師の手応えや課題を集約して、活動を改善

福岡県・私立福岡女学院中学校・高校 柿原寿人 かきはら・ひさと



本校では、2018年度に中高6年間の探究学習をデザインし、「とにかくやってみよう」の精神で始め、本年度も手探り状態でよりよい活動を模索しています。そうした改善を続ける上で、今回のシートは、指導のPDCAサイクルのうち、特に「チェック」と「アクション」に役立つと思いました。指導改善には、教師の手応えや問題意識を集めて共有する仕組みが重要であると実感してはいましたが、そうした点でも活用できそうです。

シートを最初に作成する際は、探究学習の担当責任者が少し大変かもしれませんが、日々の運用では多忙感が増すことはないでしょう。探究学習の授業では、活動の主体は生徒であり、教師は生徒を見守る時間が多くなります。その時間にこのシートを持って机間を巡り、生徒の反応を記入するとよいと思います。そして、授業後に記入したシートを決められた場所に貼れば、各学級の支援の様子や学びの深まりを共有できます。探究学習の指導に不安を感じる教師も、このツールがあれば安心感を持てるでしょう。

柿原先生プロフィール 教職歴21年。同校に赴任して3年目。中学1学年担任。凍として花「輪プロジェクトリーダー」。「昨日の自分より、今日の自分が好き」と言える「学習する教師」でありたい。

学校プロフィール 全日制/普通科・音楽科/女子校/1学年・中学校約1200人、高校生約2200人/2019年度入試合格実績(現浪計) / 国立大は、筑波大、大阪大、九州大などに18人が合格。私立大は、慶應義塾大、国際基督教大、福岡女学院大などに延べ196人が合格。

改良したいのに、どうすべきか分からない……

指導ツールを募集しています!

「改良! 指導ツール ビフォーアフター」では、取材にご協力いただける先生及び取材で検討させていただく「指導ツール」を募集しています。「自校で長年使っているツールを見直したい」「ツールのより効果的な活用法を検討したい」といった、課題意識をお持ちの先生方のご応募をお待ちしております。

〈個人情報の取り扱いについて〉をご確認いただき、必要事項①~④をご入力の上、指導ツールを添付して下記のe-mailアドレスにご送信ください。

※送信前に一度、生徒情報が削除されているかご確認ください

- ①学校名・お名前
- ②分掌・ご教職歴
- ③ツールの内容(目的・活用時期・活用方法)
- ④ツールに対する課題意識、改善要望

view21_since-1975@mail.benesse.co.jp

〈個人情報の取り扱いについて〉 この「改良! 指導ツール ビフォーアフター」のツール募集でご提供いただく個人情報は、今後の企画を検討する目的で利用いたします。お客様の意思によりご提供いただけない部分がある場合、手続き・サービス等に支障が生じることがあります。また、商品発送等で個人情報の取り扱いを業務委託しますが、厳重に委託先を管理・指導します。個人情報に関するお問い合わせは、個人情報お問い合わせ窓口(0120-924721、通話料無料、年末年始を除く、9時~21時)にて承ります。(株)ベネッセコーポレーション CPO(個人情報保護最高責任者) 上記をご承諾くださる方はご送信ください。